

利尻富士町港湾整備事業経営戦略(令和7年度見直し)

団 体 名 : 利尻富士町

事 業 名 : 港湾整備事業

策 定 日 : 令和 3 年 3 月

計 画 期 間 : 令和 3 年度 ~ 令和 12 年度(2021-2030)

1. 事業概要 * 複数の港湾を有する事業にあっては、港湾ごとの状況が分かるよう記載すること。

(1) 事業形態等

法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	非適用	事 業 開 始 年 度	昭和56年度
職 員 数	0人	港 (重 要 港 湾 区 分)	地方港湾
年間取扱貨物量 ※過去3年度分を記載			
年間船舶乗降旅客数 ※過去3年度分を記載	R4 147,838人	R5 175,761人	R6 187,043人
年間使用料収入額 (税 込 み) ※過去3年度分を記載	R4 1,946千円	R5 1,992千円	R6 2,576千円
経常収支比率 (又は収益的収支比率) ※過去3年度分を記載	R4 38.4%	R5 39.7%	R6 43.2%
経費回収率 * ※過去3年度分を記載	R4 5.4%	R5 5.8%	R6 7.8%
民 間 活 用 の 状 況	ア 民間委託	消掃・管理を委託	
	イ 指定管理者制度	-	
	ウ PPP・PFI	-	

* 法適 $\left(\frac{\text{主営業収益}+\text{その他営業収益}}{\text{営業費用}+\text{営業外費用}} \times 100\right)$ 非適 $\left(\frac{\text{料金収入}+\text{その他営業収益}}{\text{営業費用}+\text{営業外費用}+\text{地方債償還金}} \times 100\right)$

(2) 使用料形態 * 施設区分の中で複数の使用料形態がある場合には、それぞれの内容を分けて記載すること。

施設区分		現行(a)	前回(b)	改定率	前々回(c)	改定率
	使 用 料 区 分	(R1年改正)	(H20年改正)	(a/b)%	(H0年改正)	(b/c)%
ふ 頭 用 地	舗装・未舗装	8円(1日1㎡)	改定なし	-	-	-
		占用の場合 251円(1年1㎡)	占用の場合 240円(1年1㎡)	104.60%	-	-
上 屋	荷さばき上屋					
	燻 蒸 上 屋					
	旅 客 上 屋	488円(1月1㎡)	乗客部分(1)1年につき996,000円 乗客部分(2)1年につき42,000円 売店部分1年につき148,560円 食堂部分1年につき657,720円 喫茶部分1年につき343,560円			
	旅 客 上 屋 (広 告 掲 出)	112円(1月1㎡)				
荷 役 機 械						
引 船						
貯 木 場						
そ の 他						

* 各項目の単位を明記すること

2. 経営の基本方針

平成26年に現在のフェリーターミナルが完成し、施設使用料は2,000千円前後である。年間船舶乗降旅客数は、夏場の観光客入込数が影響するため、施設を適切に管理し、運営に努める。

3. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり

* 複数の港湾を有する事業にあつては、港湾ごとの内訳も作成すること。

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たつての説明

* 複数の港湾を有する事業にあつては、港湾ごとの考え方がわかるよう記載すること。

① 収支計画のうち投資についての説明

・投資の目標に関する事項

R2においてボーディングブリッジの修繕を行い、おおむね5年後を目安として同様の維持補修費を20,000千円計上している。今後も適切な維持管理に努め、施設の長寿命化を図る。

② 収支計画のうち財源についての説明

・繰入金に関する事項

地方償還金や管理運営費について、営業収益において賄えないことから、一般会計繰入を60,000千円程度計上している。R8以降は、建築の地方償還の一部が終了するため40,000千円程度の繰入を計上している。施設の利用状況にもよるが、今後の投資に向けて、数年ごとに使用料の見直しを検討する。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

経常経費は、物価高騰、原油高騰の影響もあるが、節減に努め、収支の均衡を図る。

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

*1 (1)において黒字の場合においても、投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。

*2 複数の港湾を有する事業にあつては、港湾ごとの考え方・検討状況がわかるよう記載すること。

① 今後の投資についての考え方・検討状況

投資の平準化に関する事項	大きな投資は予定していないが、今後も適切な維持管理に努める。
施設等の統合・縮小・廃止に関する事項	—
防災・安全対策に関する事項	—
民間の活力の活用に関する事項 (PPP・PFI など)	—
その他	—

② 今後の財源についての考え方・検討状況

使用料形態に関する事項	飲食提供スペースを未利用にすることがないよう、随時施設の情報提供を行い利用してもらえるようにする。利用者のニーズを的確に把握しサービスと施設のあり方を検討し、料金形態の適正化に努める。
取扱貨物量に関する事項	—
船舶乗降旅客数に関する事項	観光繁忙期において利用者に不便無いう施設管理を適切に行う。
繰入金に関する事項	一般会計からの安易な繰入に頼ることなく、受益者の負担と費用対効果を考えながら事業展開することにより、赤字額の圧縮に努め、営業収益を少しでもUPさせ、一般会計からの繰入を抑える。
資産の有効活用に関する事項	—
その他	—

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

民間の活力の活用に関する事項 (指定管理者制度、PPP・PFI など)	—
職員給与費に関する事項	—
委託費に関する事項	—
その他	—

4. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

経営戦略の事後検証、 更新等に関する事項	事業の運営について、概ね5年ごとに検証し、必要があれば経営戦略の更新等を検討します。
-------------------------	--

[illegible]

投資・財政計画
(収支計画)

年 度		H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	(単位:千円, %)	
区 分		H31年度 (決算)	R2年度 (決算)	R3年度 (決算)	R4年度 (決算)	R5年度 (決算)	R6年度 (決算)	本年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
収 支 再 差 引	(E)+(I) (J)	△ 90	127	286	△ 513	110	64	190	88	258	429	603	779
積 立 金	(K)												
前年度からの繰越金	(L)	268	178	305	591	78	188	252	442	530	788	1,217	1,820
前年度繰上充用金	(M)												
形 式 収 支	(J)-(K)+(L)-(M) (N)	178	305	591	78	188	252	442	530	788	1,217	1,820	2,599
翌年度へ繰り越すべき財源	(O)												
実 質 収 支	黒 字 (P)	178	305	591	78	188	252	442	530	788	1,217	1,820	2,599
(N)-(O)	赤 字 (Q)												
赤 字 比 率	$\left(\frac{(Q)}{(B)-(C)} \times 100 \right)$												
収益的収支比率	$\left(\frac{(A)}{(D)+(H)} \times 100 \right)$	38.5	39.4	37.5	38.4	39.7	43.3	50.5	64.8	64.9	64.8	64.9	64.9
地方財政法施行令第16条第1項により算定した 資金の不足額	(R)												
営業収益－受託工事収益	(B)-(C) (S)	5,106	4,425	3,987	3,573	3,927	4,976	5,139	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800
地方財政法による 資金不足の比率	$((R)/(S) \times 100)$												
健全化法施行令第16条により算定した 資金の不足額	(T)												
健全化法施行規則第6条に規定する 解消可能資金不足額	(U)												
健全化法施行令第17条により算定した 事業の規模	(V)												
健全化法第22条により算定した 資金不足比率	$((T)/(V) \times 100)$												
他会計借入金残高	(W)												
地 方 債 残 高	(X)	331,048	291,182	251,016	210,547	169,772	133,598	107,079	92,735	78,222	63,537	48,679	33,645

○他会計繰入金

(単位:千円)

年 度		H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	本年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
区 分		(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	(決算)						
収 益 的 収 支 分		19,705	21,430	19,955	21,982	22,869	22,571	21,757	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500
	うち基準内繰入金	1,600	1,451	1,301	1,150	997	843	713	606	521	436	349	261
	うち基準外繰入金	18,105	19,979	18,654	20,832	21,872	21,728	21,044	20,894	20,979	21,065	21,152	21,240
資 本 的 収 支 分		41,469	53,906	40,166	40,469	40,775	36,174	26,519	14,344	14,513	34,685	14,858	15,034
	うち基準内繰入金	19,784	19,933	20,083	20,234	20,387	18,087	13,260	7,172	7,257	7,343	7,429	7,517
	うち基準外繰入金	21,685	33,973	20,083	20,235	20,388	18,087	13,260	7,172	7,257	27,343	7,429	7,517
合 計		61,174	75,336	60,121	62,451	63,644	58,745	48,276	35,844	36,013	56,185	36,358	36,534